

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10	12	10
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	17	14	18 (21)	13
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2	0 (1)	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2	4 (7)	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3	5	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0	0	2
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2	5	4

- * () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
- * その他の2件は、それぞれ、エルシニア、プレジオモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第5週(1月29日~2月4日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4	2	1					1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1			1				
四類	3	A型肝炎	1			1				
		レジオネラ症	2			2				
五類全数	9	急性脳炎	2					2		
		梅毒	7					6		1

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

- 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第5週 1/29~2/4)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

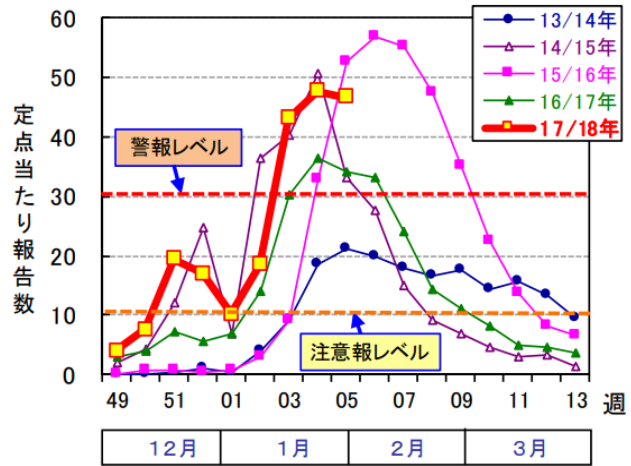
定点当たり46.8人と、警報レベル(定点当たり30.0人)が継続中で、市内全域で本格的な流行となっています。

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第5週に69件、その後も2月5日までに30件の報告があり、今シーズンの累計は224件となりました。

なお、第5週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が135人、B型陽性が311人と、B型の割合が69.7%となっています。

寒い日が続いていますので、健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行、人ごみを避けるなど感染予防に努めましょう。

インフルエンザの流行状況



2. 梅毒

6件の報告があり、今年の累計は12件となりました。最も報告の多かった昨年(62件)を上回るペースでの報告となっています。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1732	46.81	37.46	→	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.54	
	咽頭結膜熱	1	0.04	0.30	→	小児科	RSウイルス感染症	10	0.42	0.40	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	2.33	2.32	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	148	6.17	8.03	→	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.45	
	水痘	6	0.25	0.63	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	8	0.33	0.27	→	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.27	→	基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	3	0.13	0.38	→	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02	→	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↕ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	急性脳炎	2	3	男性(60歳代)、男性(80歳代)
5	梅毒	6	12	男性(20歳代)・1人、女性(20歳代)・2人、男性(30歳代)・3人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	眼結膜濾胞	59	男	2017/12/24	結膜擦過物	アデノウイルス54型
その他の疾患	結膜充血 眼脂	36	女	2017/12/18	結膜擦過物	アデノウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載